

**公益財団法人自動車リサイクル高度化財団 自主事業
「エアバッグ布およびシートベルトリサイクルのための基盤づくり事業」**

**2024年度 エアバッグ・シートベルト回収作業
作業手順書**

株式会社 矢野経済研究所

2024年12月

※ 公益財団法人自動車リサイクル高度化財団（J-FAR）、とは自動車のリサイクルの高度化等に関する学術的・実践的調査・研究を行うとともに、資源の有効活用や環境保護等に関する研究及び事業への助成等を行う公益財団法人。
本事業はJ-FAR様より、自動車リサイクルの高度化等に資する事業として業務委託を受けて実施しております。

本資料の趣旨と目的

趣旨	<ul style="list-style-type: none">➤ 使用済み自動車由来のエアバッグ布・シートベルトを回収し、それらを加工してリサイクル品を市販している活動は既にあります。➤ しかし、これらは個別の企業での回収であり、統一された回収基準などは存在しないため、複数の事業者で大量に回収する際には、各解体事業者によって回収品質が異なることが想定されます。➤ 全国のどの解体事業者に依頼しても同等品質のエアバッグ布・シートベルトが回収できるように、統一した回収基準を設定し本作業手順書を作成しました。➤ エアバッグ布回収時の作業者の安全性についても配慮し作業書に反映しております。
目的	<ul style="list-style-type: none">➤ エアバッグ布・シートベルトをリユース、リサイクル用途で回収した場合、本作業手順書を基に実施いただくことで、全国のどの解体事業者に依頼しても同等品質のエアバッグ布、シートベルトが回収可能となります。➤ また回収作業者の健康影響も考慮し、エアバッグ展開から、車室内での切取り作業の時間、やけどの危険のない切断箇所の設定を行っています。➤ 本作業手順書をご利用いただき、エアバッグ布・シートベルトリサイクルの一助となれば幸いです。

1. 推奨使用工具

エアバッグ布：切取りは主に丸カッター

シートベルト：切取りは丸カッター又はカッターを推奨



丸カッター



カッター

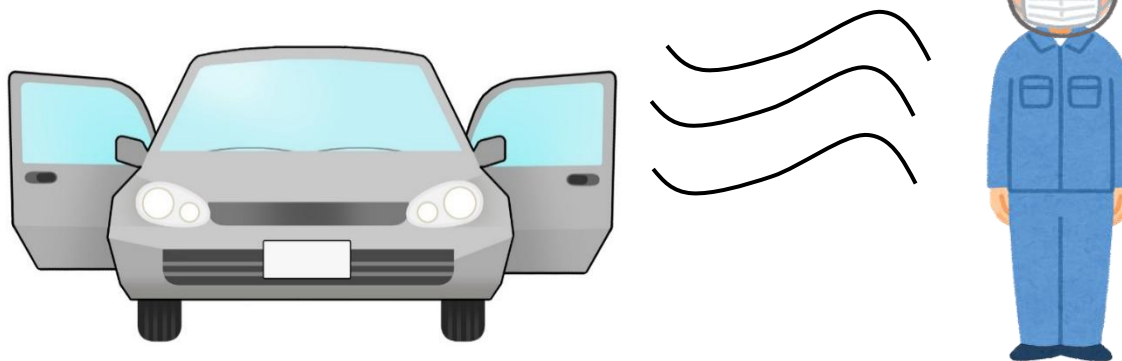
※丸カッター＝安全性が高く、作業性が良い

※カッター＝作業性が良い

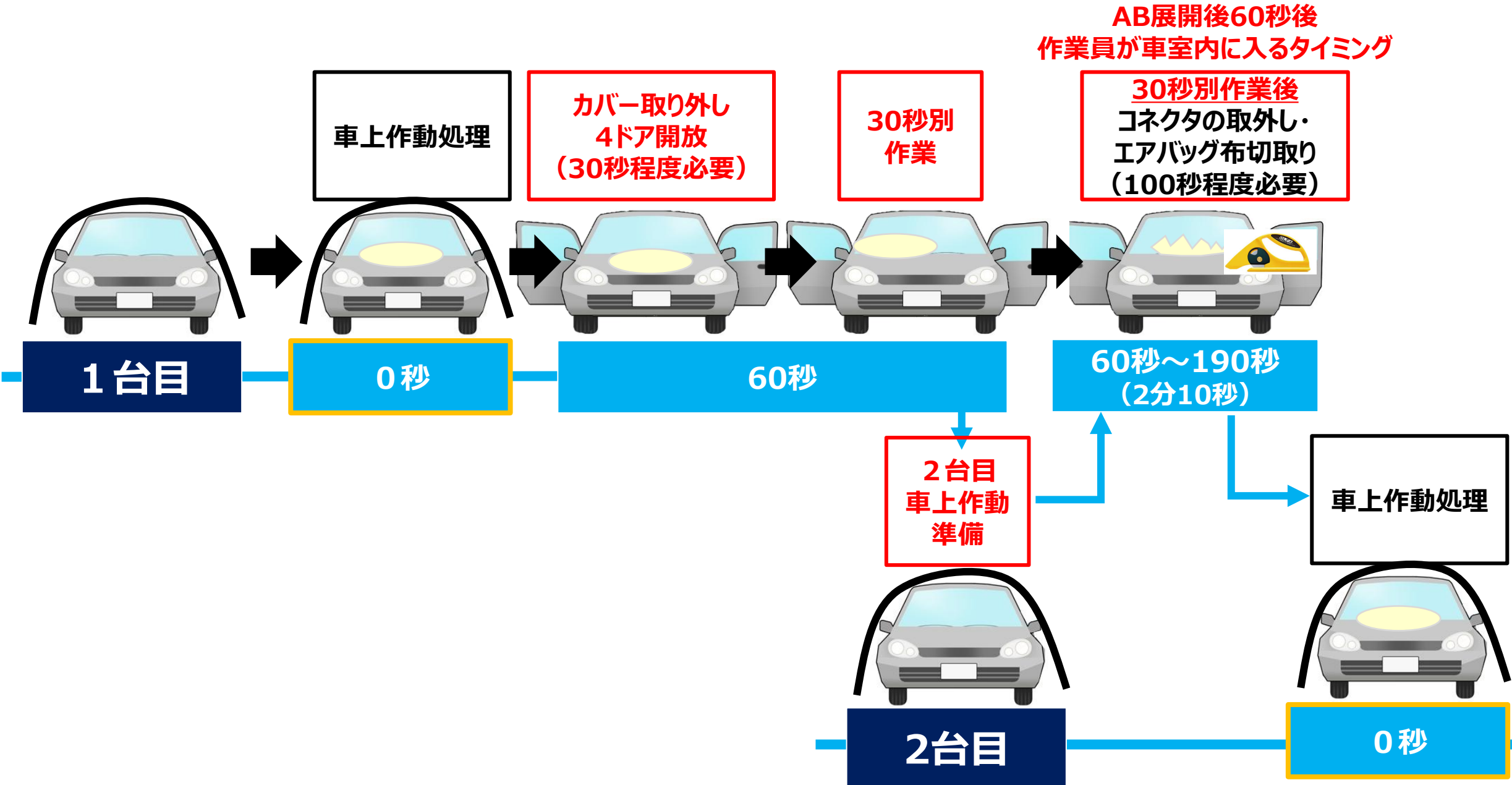
2. 装備及び作業環境

- 2000年以前のエアバッグ（インフレーター）には、人体に影響のある「アジ化ナトリウム」が使用されていた可能性があり、**エアバッグ布・シートベルトを回収する場合は、2001年以降の車両**からとってください（2001年以降はアジ化ナトリウムの使用を撤廃）。
- AB切り取り時にはすべてのドアを開放し作業を行うことをお願いいたします。
- エアバッグ展開後のガス分析を実施したところ、CO（一酸化炭素）とNH₃（アンモニア）で日本産業衛生学会が提唱する平均許容濃度をエアバッグ布切り取り作業開始直後で超える可能性があることが分かりました。
- 屋内でのCO平均許容濃度を参考にし、安全面から車上作動処理後、**4ドア（運転席・助手席・後部座席ドア）を開放し、1分以上開けること**をお願いいたします。（実施イメージ詳細はP4参照）

手袋、マスクをつけて作業する。（場合によってはメガネも）



3.作業時間例



4. 切断方法と切断箇所

- エアバッグ展開直後のインフレーターは150℃以上の高温となるため、やけど防止のため、根本から10cm離れた位置で切断してください。

	切取り前	切取り方法	
		良い例	悪い例
A B		<p>根元から10cm程度離して切断</p> 	<p>根元ギリギリで切断 = インフレーターに触れる危険</p> 
S B	 <p>シートベルト上部は最大限引き延ばして切断</p> <p>異物がない箇所で切断</p>	 <p>異物のない回収品</p>	 <p>折り返してある硬い部分は回収対象外</p> <p>ここでキリトリ</p>

5.エアバッグ布切断方法

丸カッター 運転席エアバッグ布

エアバッグ布を引っ張り、ピンと張った状態で
根本から10cmの部分に丸カッターを入れ切断



図.丸カッターによる回収の様子

5.シートベルト切断方法例

丸カッター 助手席エアバッグ布

エアバッグ布を引っ張り、ピンと張った状態で根本から10cmの部分に丸カッターを入れ切断
助手席はエアバッグ布に厚みがあり、刃が入りにくいことがあるため、上部の布を切った後、下部を切る



図.丸カッターによる回収の様子